

(参考)

調布駅前広場における 社会実験の取組について

- 1 ベンチに関する利用実態調査について
 - 1-1 ベンチに関する利用実態調査の概要
 - 1-2 ベンチに関する利用実態調査の結果
- 2 自転車の通行に関する利用実態調査について
 - 2-1 自転車の通行に関する利用実態調査の概要
 - 2-2 自転車の通行に関する利用実態調査の結果
- 3 アーチ型ミストに関する利用実態調査について
 - 3-1 アーチ型ミストに関する利用実態調査及びアンケート調査の概要
 - 3-2 アーチ型ミストに関する利用実態調査の結果
 - 3-3 アーチ型ミストに関するアンケート調査の結果
- 4 遮熱性舗装について

1-1 ベンチに関する利用実態調査の概要

項目	内容						
目的	各ベンチの平日と休日（イベント実施時）の利用者数と利用のされ方を確認する。						
実施日	平日休日の各1日ずつ（京王線の始発～終電までの1時間毎）	令和2年 8月21日（金），30日（日）	令和2年11月19日（木），22日（日）				
調査方法	定点位置から1時間毎に写真を撮影する。その写真の利用状況をもとに、利用目的別の利用人数（年代毎に計上）を数える。ただし、（ア）可搬式緑化ベンチは写真での全利用者判別が難しいため、写真+目視で確認する。						
調査対象	（ア）可搬式緑化ベンチ （イ）子ども用スツール （キ）石スツール	（イ）ユニット・サークルベンチ （オ）自動車ベンチ （ク）パーゴラ・ベンチ	（ウ）サポーターベンチ （カ）飛行機ベンチ （ケ）人工芝				
利用目的	（ア）食事	（イ）休憩	（ウ）会話	（エ）1人で飲酒	（オ）複数人で飲酒	（カ）寝ている	（キ）その他
年齢	（ア）0～3歳 （イ）4～6歳 （ウ）7～18歳 （エ）19～64歳 （オ）65歳以上 また、（エ）19～64歳については、「子連れ」か「それ以外」で利用しているか計上する。						

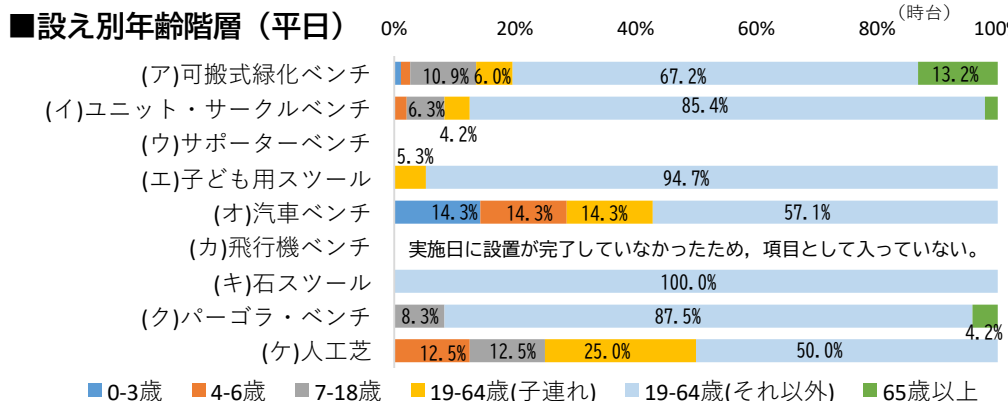
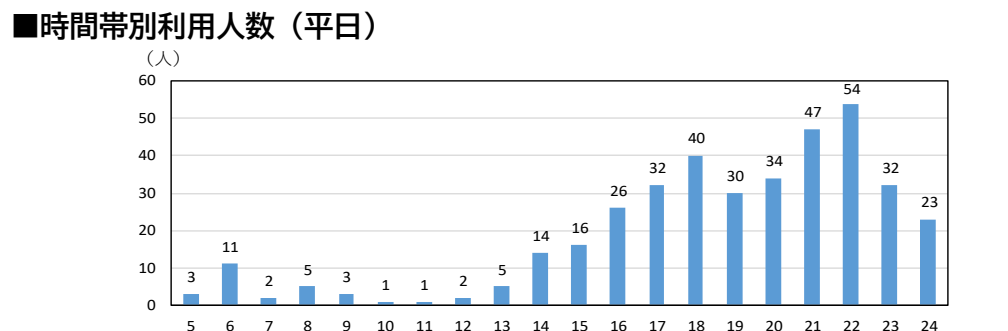
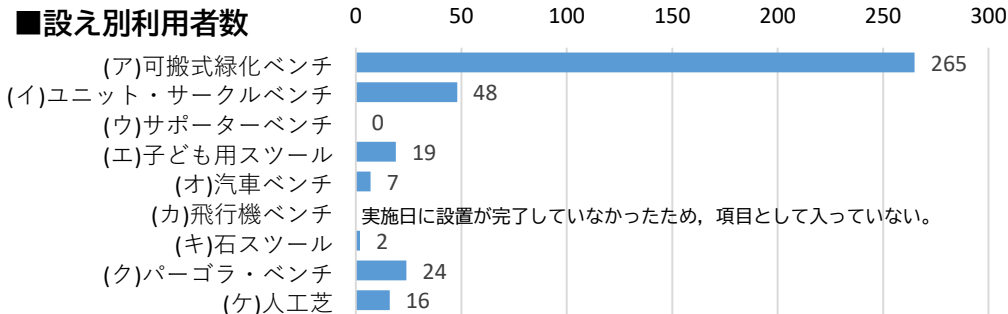


▲調査時の各撮影ポイント

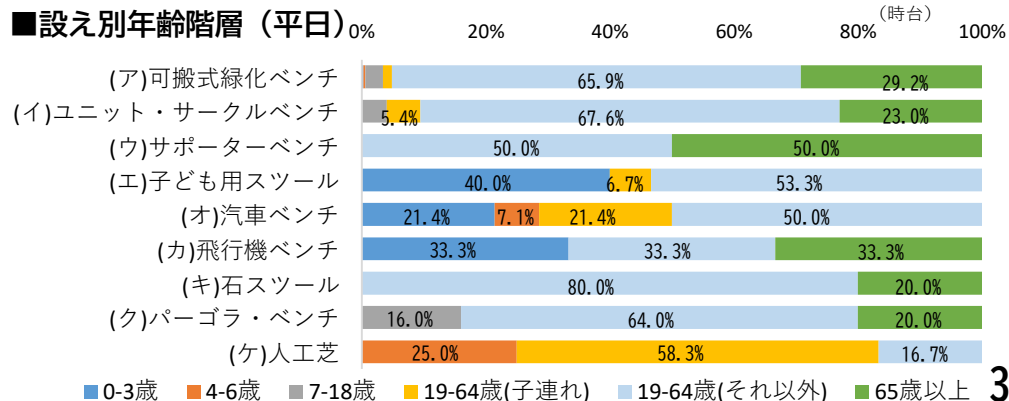
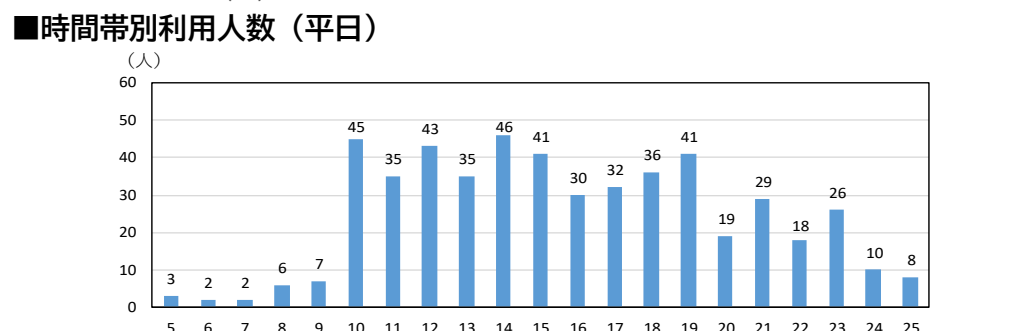
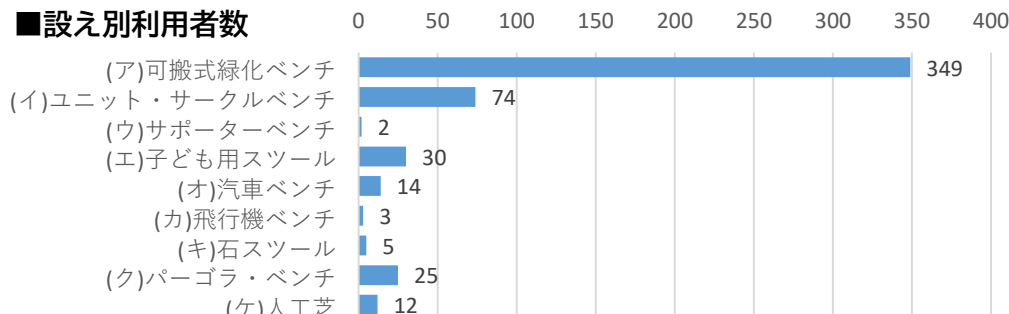
1-2 ベンチに関する利用実態調査の結果

- 時間帯別の利用人数を比べてみると、夏は夕方から夜にかけて利用人数が増加しているのに対して、秋は日中から夕方にかけて利用者が多く、夜にかけて減少している。
- 設え別の利用者数は、季節問わずに(ア)可搬式緑化ベンチの利用者数が多く、次に(イ)サークルベンチが多い。利用の年代としては基本的には子連れでない19～64歳が多いが、秋は65歳以上の高齢者の利用者数が夏よりも多くなっている。
- また、主に子どもをターゲットとした自動車・飛行機ベンチや子ども用ツール、人工芝については、ほかの設えよりも0～6歳の乳幼児や子連れの19～64歳の利用者が占める割合が多くなっている。また、平日よりも休日の方がターゲット層の利用が多かった。

調査実施日：令和2年8月21日（金） 最高気温：36.4℃ 最低気温：25.3℃ 天気：晴れ

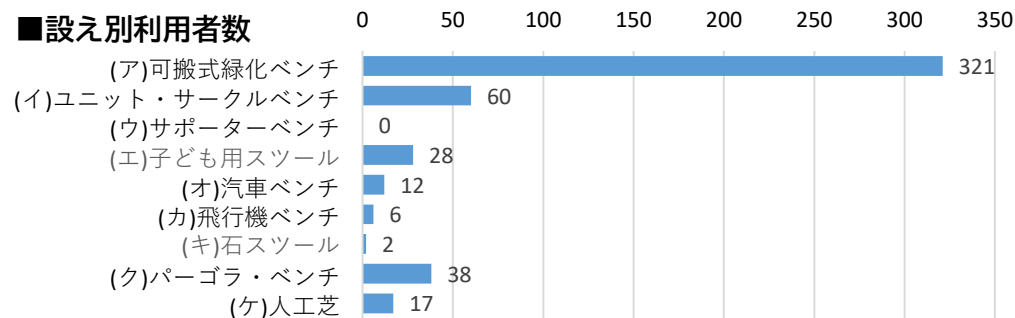


調査実施日：令和2年11月19日（木） 最高気温：24.4℃ 最低気温：10.9℃ 天気：晴れ

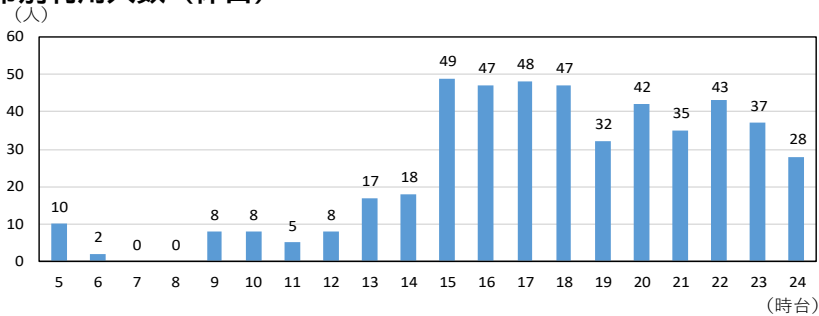


調査実施日：令和2年8月30日（日） 最高気温：35.4℃ 最低気温：25.5℃ 天気：晴れ

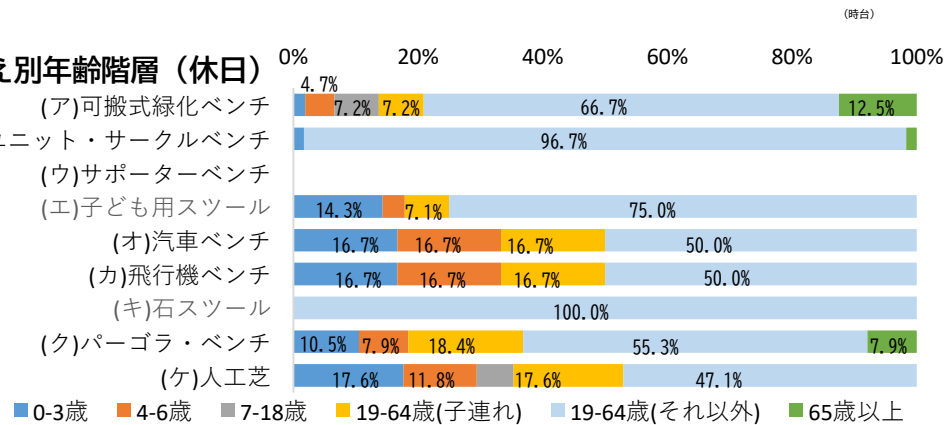
■ 設え別利用者数



■ 時間帯別利用人数（休日）

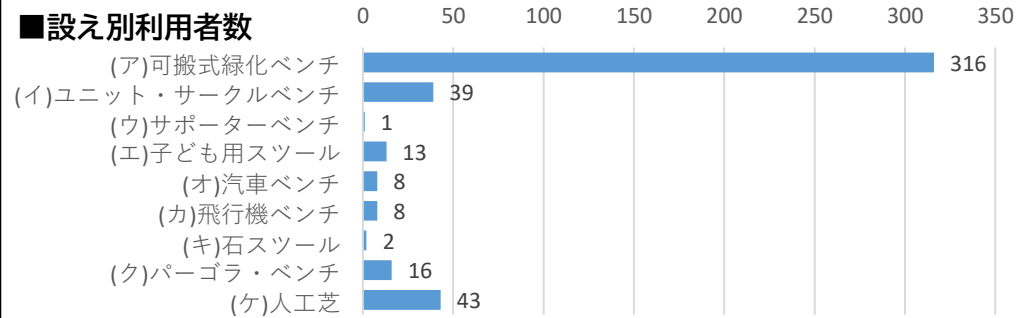


■ 設え別年齢階層（休日）

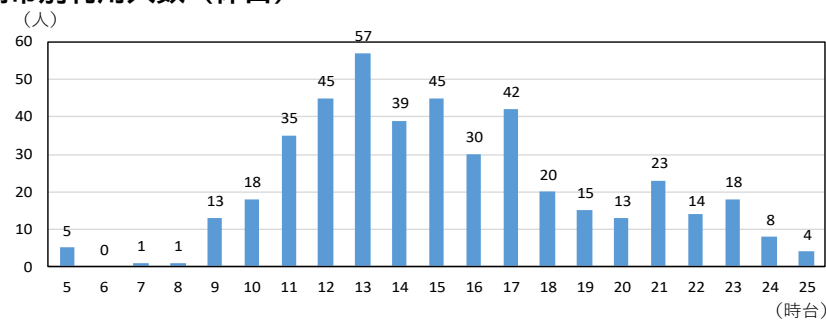


調査実施日：令和2年11月22日（日） 最高気温：19.7℃ 最低気温：4.1℃ 天気：晴れ

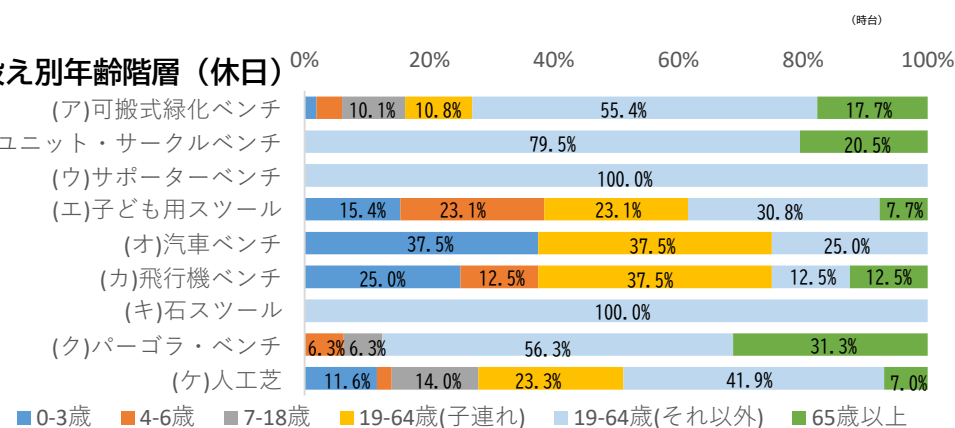
■ 設え別利用者数



■ 時間帯別利用人数（休日）

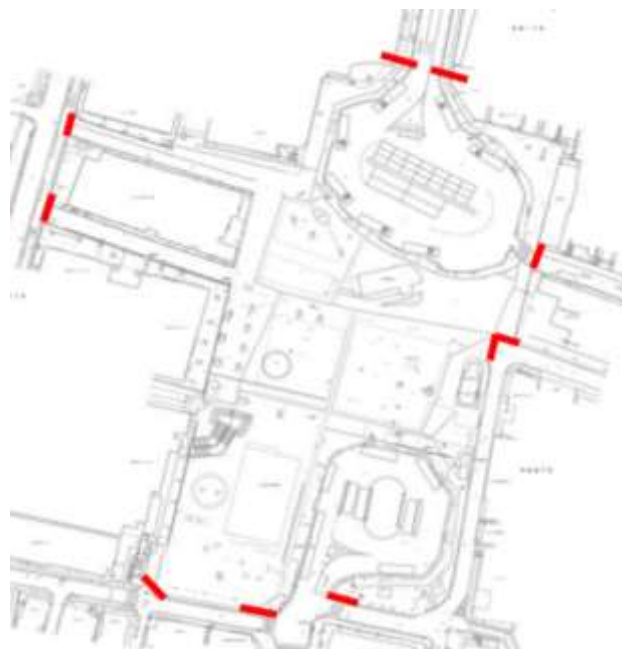


■ 設え別年齢階層（休日）



2-1 自転車の通行に関する利用実態調査の概要

項目	内容
目的	サインスタンド等の設置により、自転車利用者の行動にどのような変化が生じたかを確認する。
実施日	以下の平日休日の各1日（7:00～21:00） [社会実験開始前] 令和3年7月18日（日）、19日（月） [社会実験開始後] 令和3年9月13日（月）、19日（日）
調査方法	広場の各出入口において、1時間ごとに以下の項目を観測する。 (1) 流入・流出台数 (2) 年齢階層 ・13歳未満 ・13～69歳 ・子どもが同乗している13～69歳 ・70歳以上 (3) 通行の実態 ・そのまま通行している ・減速して通行している ・押し歩きをしている



計測した断面（赤着色部）

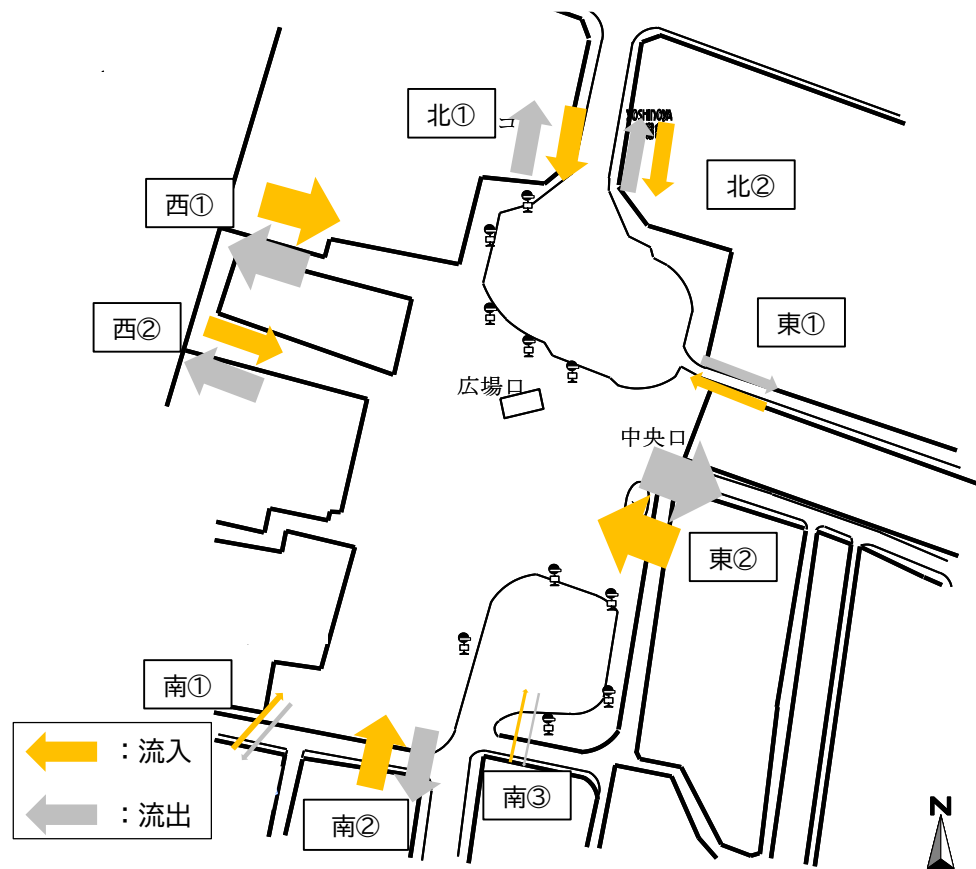


利用実態調査の様子

2-2 自転車の通行に関する利用実態調査の結果①（基本データ編）

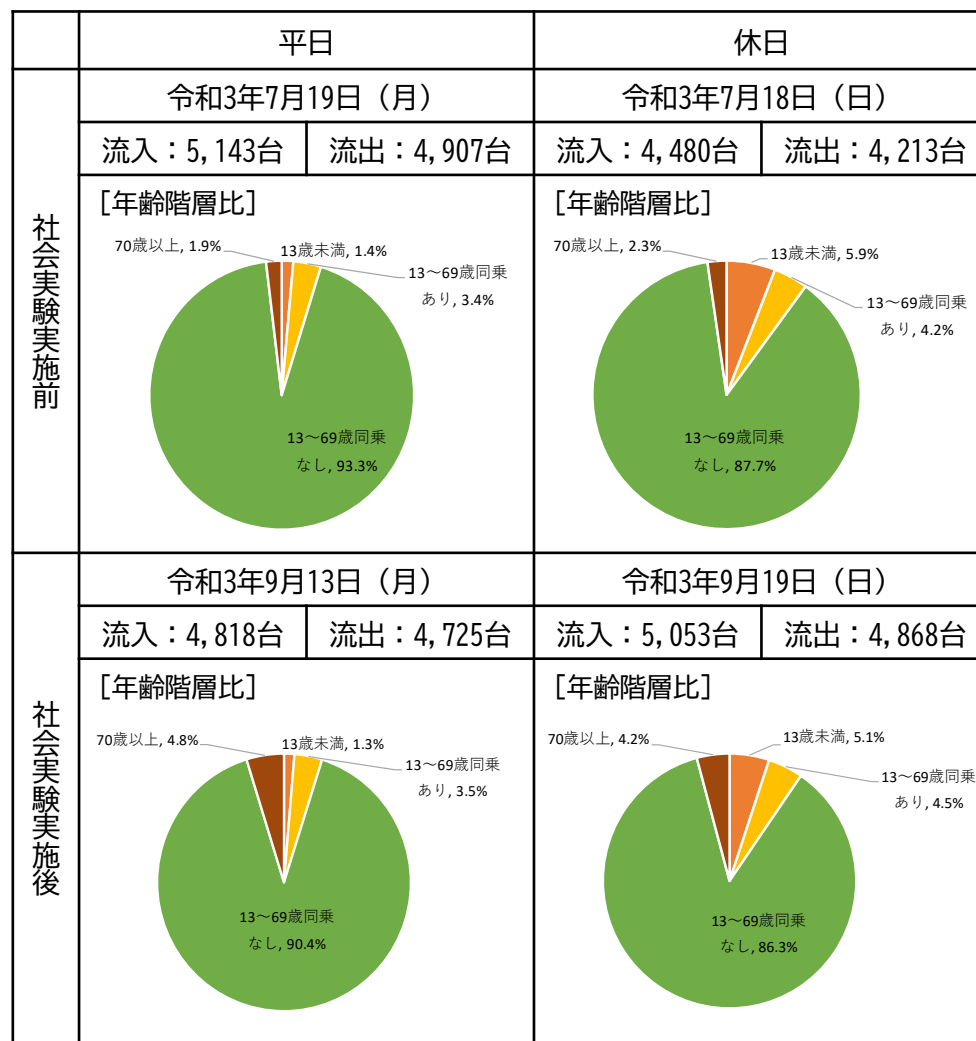
- 調布駅前広場には1日平均約4000～5000台の自転車が流入・流出している。
- 調布駅前広場の自転車通行において、調査した4日間の平均をみると、東②（交番前）が最も流入・流出が多く、次に西①，南②となっている。
- 調布駅前広場を自転車で通行する市民の年齢階層としては、道路交通法上、基本的に歩道を自転車通行してはならない年代に当たる13歳～69歳（同乗者なし）が最も多い。また、休日になると13歳未満の割合が増えた。

■各断面における流入・流出台数（4日間平均，小数第一位以下四捨五入）



(単位：台)	北①	北②	東①	東②	西①	西②	南①	南②	南③
流入	541	412	267	1140	962	573	139	670	78
流出	551	387	267	1184	929	707	114	608	63

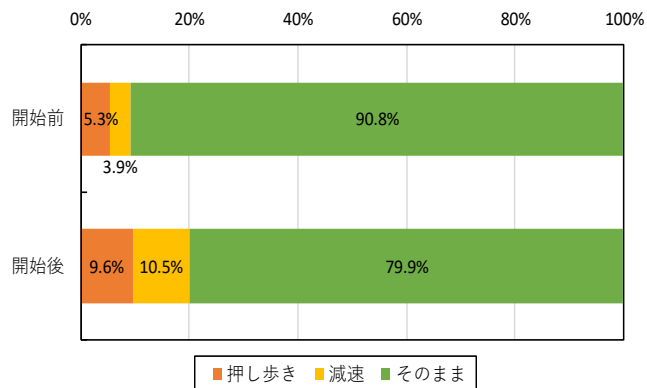
■各調査日における流入・流出台数と年齢階層比



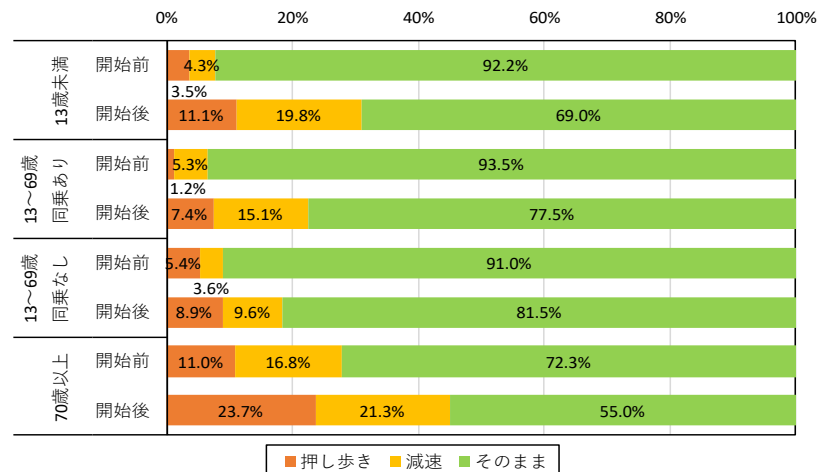
2-2 自転車の通行に関する利用実態調査の結果②（開始前後比較：平日編）

- 平日においては、「押し歩き」「減速」をする市民の割合がやや増加した。
- 断面別では、東側・南側断面において「そのまま」通行する市民の割合が、社会実験実施後では減少傾向となり、特に東②（交番前）断面で大きな改善が見られた。また、西側断面では微減傾向、北側断面では微増と、あまり効果が見られなかった。
- 年代別では、道路交通法上、基本的に歩道を自転車通行してはならない年代に当たる「13～69歳（子連れではない）」の「そのまま」の減少率は、ほかの年代に比べて低かった。
- 時間帯別では、どの時間帯でも「そのまま」の減少率に大きな差は見られなかった。

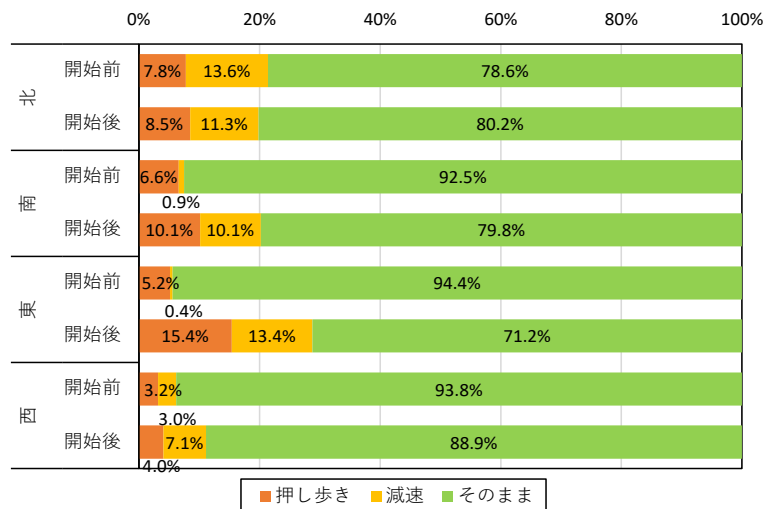
■通行実態の比較（平日）



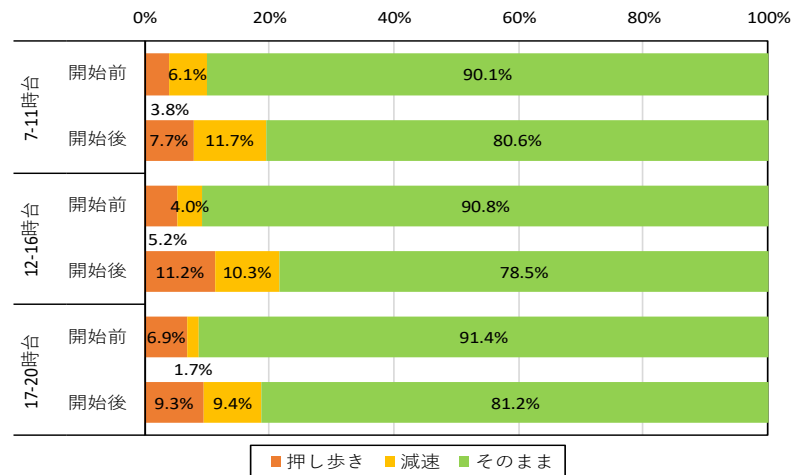
■年代別でみた通行実態（平日）



■断面別（4断面）でみた通行実態（平日）



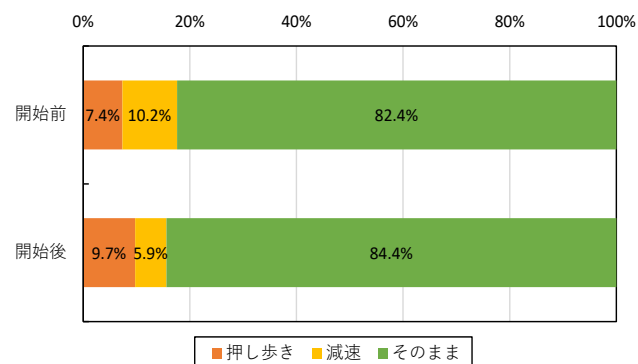
■時間帯別でみた通行実態（平日）



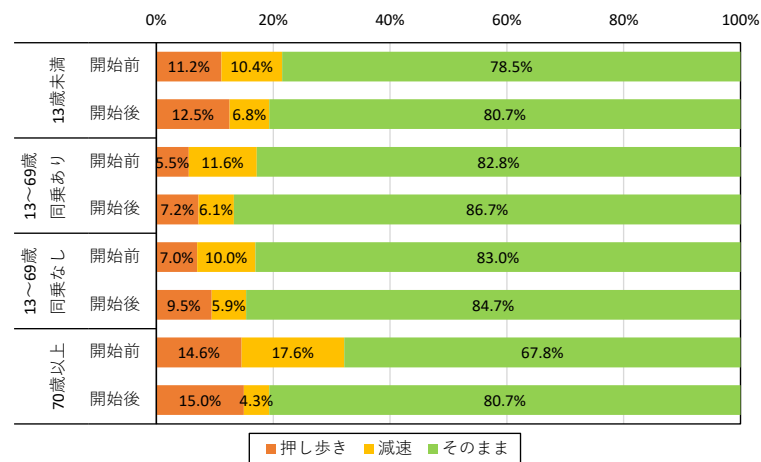
2-2 自転車の通行に関する利用実態調査の結果③（開始前後比較：休日編）

- 休日においては、「押し歩き」をする市民の割合は微増したものの、「そのまま」通行する市民も微増した。
- 断面別では、東側・南側断面において「そのまま」の割合が微減したものの、北側・西側断面では増加する結果となり。北側断面においては、北①（パルコ前）北②の両方で「そのまま」の割合が増加した。
- 年代別では、すべての年代において「そのまま」の割合が増加しており、特に「70歳以上」の増加率が他と比べて大きい。一方、全年代において「押し歩き」の割合が微増している。
- 時間帯別では、朝から夕方にかけての時間帯で「そのまま」の割合が増加している。

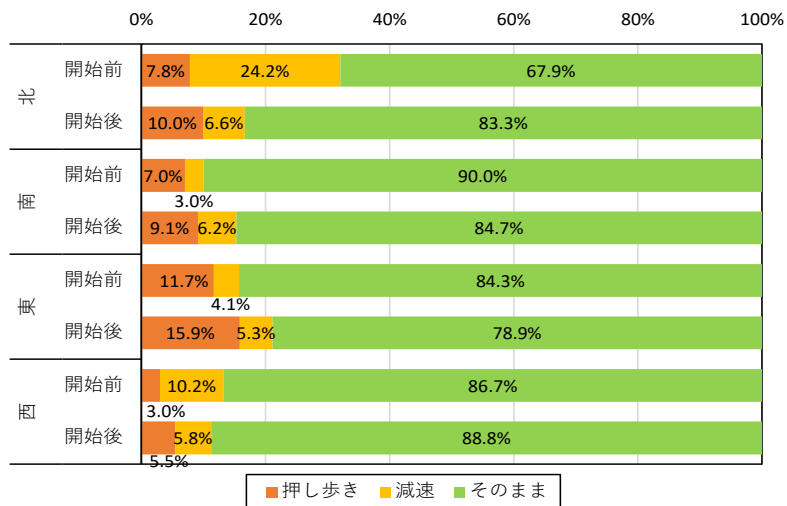
■通行実態の比較（休日）



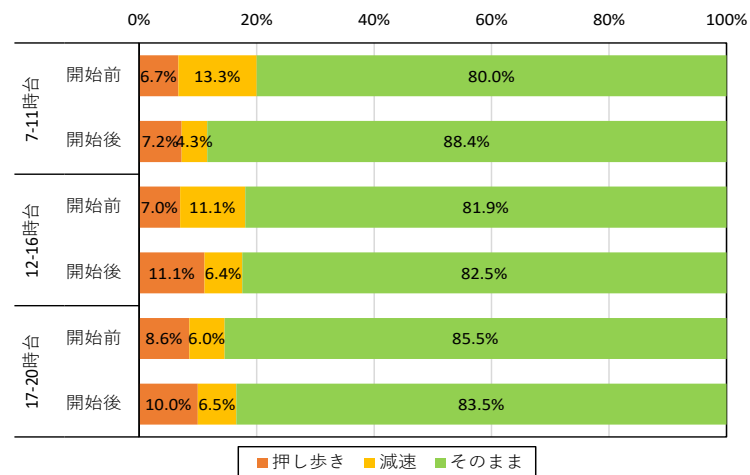
■年代別でみた通行実態（休日）



■断面別（4断面）でみた通行実態（休日）



■時間帯別でみた通行実態（休日）



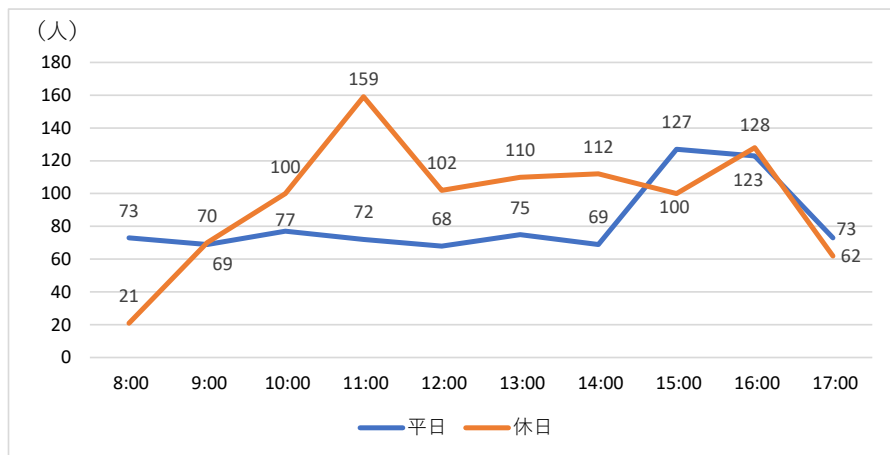
3-1 アーチ型ミストに関する利用実態調査及びアンケート調査の概要(2)

項目	アーチ型ミスト利用実態調査	アンケート調査 【調布駅前広場利用者（子連れの方）】	アンケート調査 【保育士・幼稚園教諭・保護者】																
目的	子どものうらおい空間の検討を目的として令和3年度に設置したアーチ型ミストについて、調布駅前広場の利用者や駅周辺の保育園児や幼稚園児にどのような使われ方をしていたかを調査する。																		
実施日	令和3年8月29日（日），30日（月） 各日午前8時～午後6時		令和3年8月30日（月）から9月17日（金）まで																
調査方法	<p>アーチ型ミストを通過した利用者を目視により年齢別にカウント</p>  <p>利用実態調査の様子</p>	<p>調布駅前広場において下記のアンケート用紙を配布</p>  <p>アンケート用紙</p>	<p>調布駅から半径1km以内にある市内の認可保育園，認証保育所及び幼稚園に依頼し，アンケート調査票を配布</p>  <p>アンケート用紙</p>																
調査対象	調布駅前広場利用者	調布駅前広場利用者（子連れの方を対象）	保護者・保育士・幼稚園教諭																
利用者数 回答数	平日 826人 休日 964人	564票（平日95票 休日：469票）	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>配布</th> <th>回収</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>2,548票</td> <td>1,255通</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>保育士 幼稚園教諭</td> <td>497票</td> <td>357通</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2,051通</td> <td>898通</td> <td>44%</td> </tr> </tbody> </table>		配布	回収	回収率	全体	2,548票	1,255通	49%	保育士 幼稚園教諭	497票	357通	72%	保護者	2,051通	898通	44%
	配布	回収	回収率																
全体	2,548票	1,255通	49%																
保育士 幼稚園教諭	497票	357通	72%																
保護者	2,051通	898通	44%																

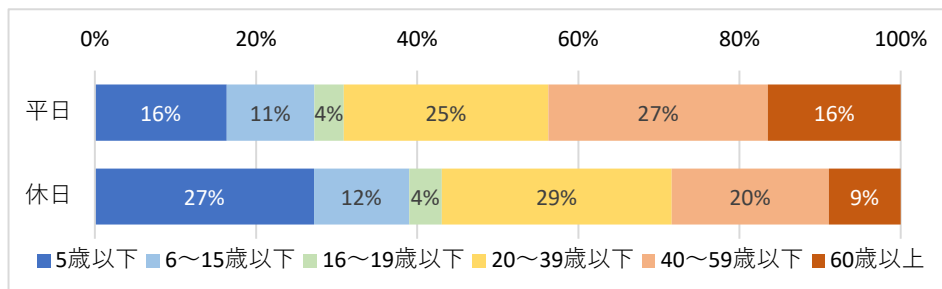
3-2 アーチ型ミストに関する利用実態調査の結果①

- 平日に826人、休日に964人の利用があった。
- 平日は15時台がピークとなっており、休日では、11時台がピークとなっている。
- 幅広い年齢層に利用されており、特に休日は子育て世代を中心に未就学児を連れた利用者が多くなっている。

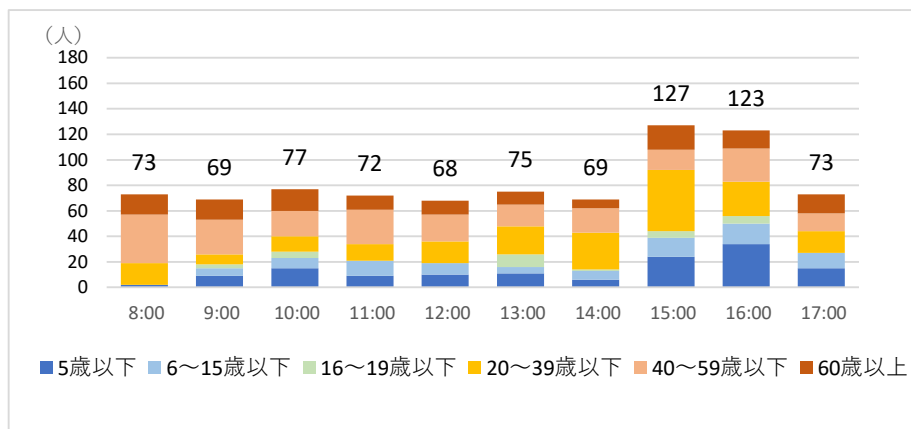
■利用者の時間変動



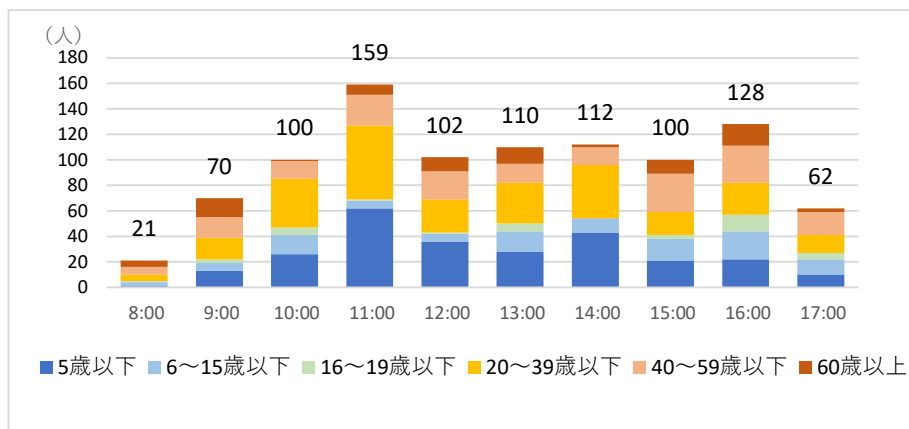
■利用者の年齢構成



■時間別の利用者年齢構成 (平日)



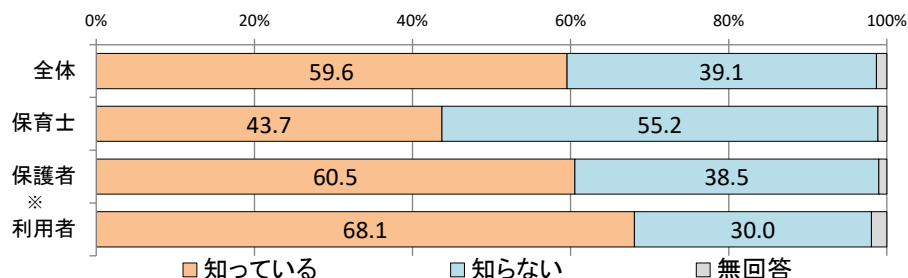
■時間別の利用者年齢構成 (休日)



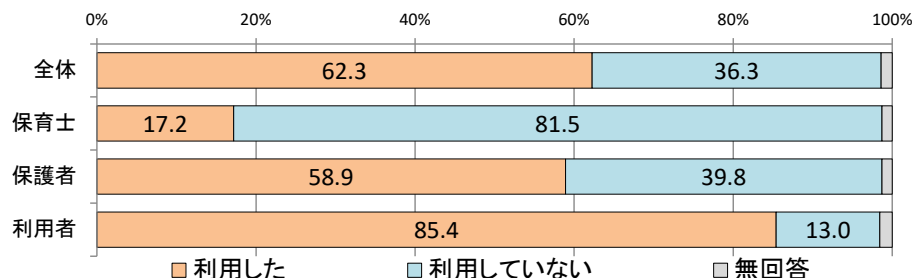
3-3 アーチ型ミストに関するアンケート調査の結果②

- アーチ型ミストについて約6割の方が認知しており、そのうちの8割以上の方が利用している。
- 暑さ対策の有効性や子どものうるおい空間の設えとしての利用者の感想は、全体の半数以上が「良い」と回答しており、アーチ型ミスト導入の効果は高いといえる。
- 今後の利用の可能性については、利用したことがない方で7割以上、利用したことがある方で8割以上が、今後も利用したいとの回答であった。
- 今後設置してほしいミストとしては、「オブジェからミスト噴射」が一番多かった。

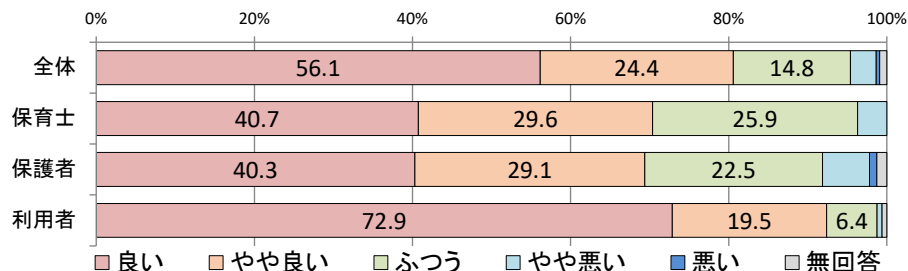
■アーチ型ミストの認知について



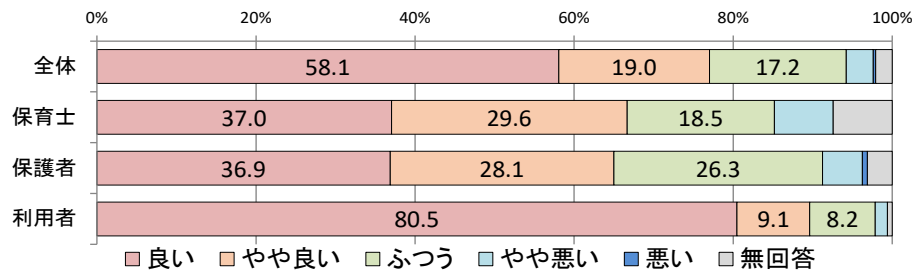
■アーチ型ミストの利用について



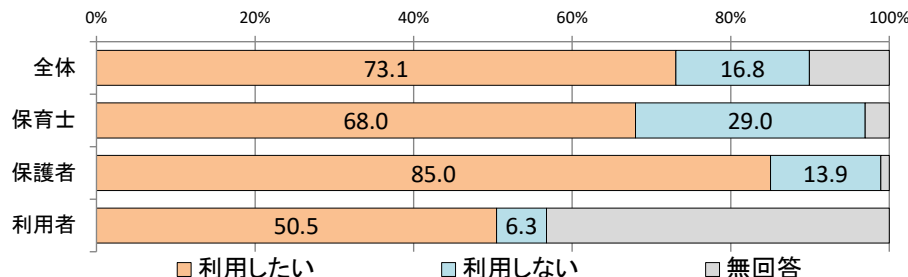
■暑さ対策の有効性について



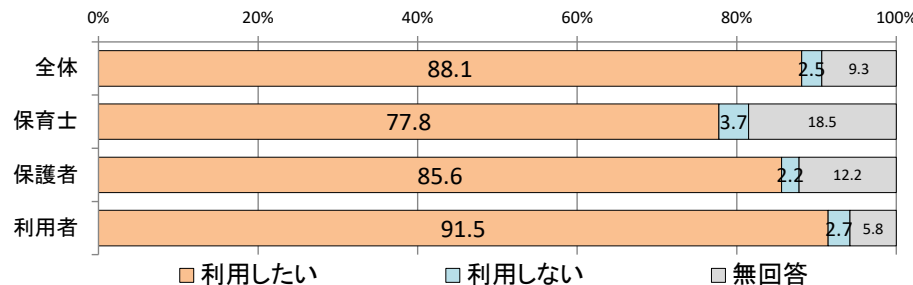
■子どものうるおい空間について



■今後の利用の可能性について（利用したことがない場合）

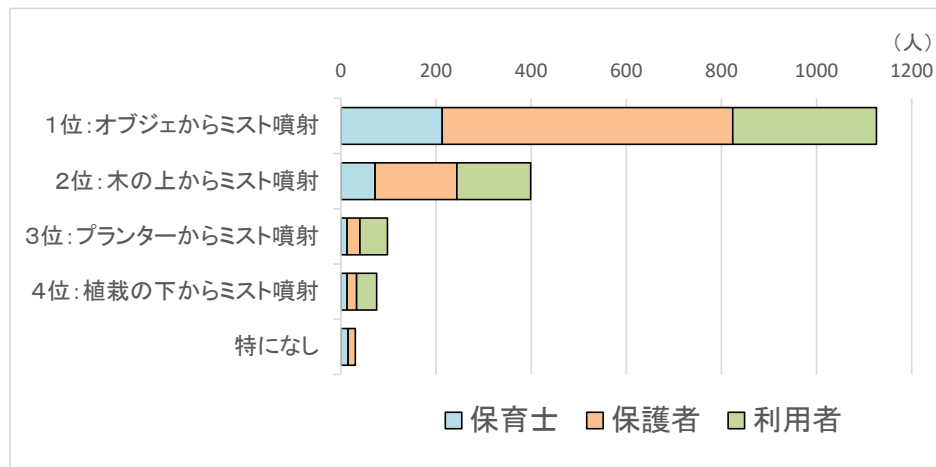


■今後の利用の可能性について（利用したことがある場合）



※利用者…調布駅前広場を利用している子連れの方

■あれがいいと思うミストについて



■その他、社会実験に関する主な意見について

- 色々なことをやられていて、街づくりを盛り上げようとしていること自体が好印象です。市民が互いに助け合うようなPlanに期待しています。
- 水がかかるのが苦手だった娘が、アーチ型ミストでは大変楽しく遊んでおり、満足していたようです。
- 夏しか楽しめないのも、冬も同じく一年を通じて子供が遊んで楽しいオブジェ等の設置を期待しています。
- 子どもは少し怖がり、アーチの中を自分では進めず抱っこして通りました。何か動物などかわいい装飾があるとよかったです。
- 駅前に子どもを連れて遊びに行かないので、駅前以外にもあれがいいと思います。
- 子どもを遊ばせるものだとは思いませんでした。もっと子どもに楽しい仕掛けや装飾があるとよかったです。
- 密を避け暑さ対策となるなら、「じゃぶじゃぶ池」などもいいのではないかと思います。
- 木が少ない（異常なくらい）コンクリートばかりで、そもそも子どもを遊ばせようと思えません。
- 駅前広場に設置するのであれば、遊んでもいいスペースと休憩スペースを分けてもらわないと、園児たちを遊ばせたとしても迷惑になります。
- 公共スペースを使っての社会実験を積極的に行い、市民の安心や健康、幸福につながる住みやすい街づくりを実現してください。

第1位 オブジェからミスト噴射



第2位 木の上からミスト噴射



第3位 プランターからミスト噴射



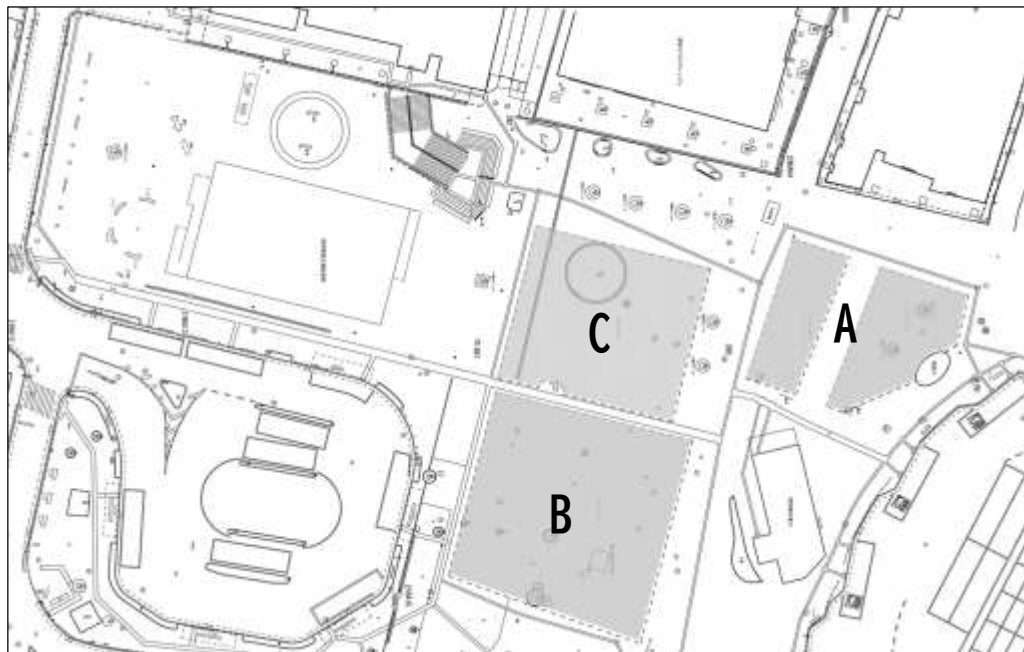
第4位 植栽の下からミスト噴射



4 遮熱性舗装について

- 市民からのご意見に加え、国際的なイベントの実施に合わせて歩行空間に対する暑さ対策の必要性が出てきたことを踏まえ、令和元年度に遮熱性舗装を施した。
- 実施した範囲は、現在のイベント広場のA・B・Cの計4か所である。
- また、工事に合わせて日なた・日陰・遮熱性舗装にてどのくらい温度が変わるのかを調査した。
- 今後、遮熱性舗装を施す場所や範囲については、利用者の声や関係機関との協議を踏まえ決定していく。

■遮熱性舗装を施した箇所（図中グレー着色部）



■遮熱性舗装の調査の概要

項目	内容
目的	令和元年度の遮熱性舗装の工事に伴い、実際にどのくらい体感温度が低くなるのか、実際に温度を計測した。
実施日	令和元年9月2日（月）
調査方法	調布駅前広場の晴れの日において、日なた・日陰・遮熱性舗装上における路面温度、地上1.5m、地上2.0mのそれぞれの温度を計測した。

■調査結果（℃）

	路面温度	地上1.5m	地上2.0m
日なた	45.2	40.0	39.3
日陰	32.6	31.3	31.9
遮熱性舗装	40.2	37.2	36.8